

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年 2月 7日

事業所名 太陽の花

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			訓練スペースにはほとんど物を置かずに十分にスペースを取っている。部屋数もスペースも広く狭く感じない。サーキット運動を行えるスペースがある。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5			利用児童に見合っている。余分に配置して一人ひとりに手厚い支援を実施している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2		運動の活動が多いため一部しかバリアフリーに対応していない。室内は段差がなくバリアフリーになっている。フロア内に段差は無くトイレも十分広いスペースがある。玄関に段差があり、将来的に車椅子を利用する児童がきてもいいようにスロープを設置。	てすりやスロープの設置は今後必要に応じて導入する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			業務の目標、振り返りを行いより良い療育を目指している。毎日のミーティング、月1の事業所会議をし情報共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	4		今年1年目なので今回のアンケート調査を元に改善目標を立てて取り組んでいきたい。	今回の調査後に実施予定。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		5		これから公開する(開所して1年たっていない為)今後公開する予定。	公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	1	外部評価をおこなっていない。今後実施予定。	今後実施予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		リモート研修に多く機会を確保している。直近で行われる研修にはチーム全体で参加している。研修の機会が確保されているので知識を共有できている。ネットによる外部研修(リモート)で月1回はおこなっている。	今年度は虐待防止研修、職員スキルアップ研修、SSTスキルアップ研修、応用行動分析の実践、夏休みの魅力的な支援、特別支援学校と通常の学校の違い、指導員運動療育研修、応急手当で講習などの研修を実施。一部の職員に対して強度行動障害研修を実施。今後も必要な研修を随時取り入れていく予定。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			保護者にアセスメントを聞き子供の思いも聞き入れてプランに入れている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3		観察ということはあるが標準化されたものに図っているかわからない。相談員から基本情報をいただいている。事業所も保護者からアセスメントをして両方を照らし合わせて活用している。	独自のアセスメントツールを使用している。標準化したアセスメントツールは今後導入したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	1	週でその日の担当を決めてチームで実行している。個人で話し合っている。運動面ではチームで考えると色々な動きがでて良いと思う。	初年度は出来なかったが今後は年間の行事をチームで考え立案する予定を立てている。日々の活動プログラムについても個人に任せるのではなくなるべくチームで共有していきたいと思う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			職員が分担し固定化しないよう工夫している。固定化しないよう職員一人ひとりが活動を考えている。指導員一人ひとりがアイデアを出して固定化しないよう努力している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		平日と長期休みでプログラムを変えて実施している。一人ひとりに合った課題や作業訓練を積極的に取り入れている。休日の課題はない。	今後一人ひとりに合わせた作業訓練は積極的に取り入れていきたい。平日、学休日、長期休みで課題を設定し共有していきたいと思う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			子どもの状況でプログラムに変化をつけていると感じる。一人ひとりの課題を話し合い個別の療育を行なっている。集団活動は毎日実施している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝のミーティングで話し合っている。必要に応じて役割分担を決めている。朝ミーティングをしている。始業時にミーティングがある。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		朝のミーティングで話し合っている。必要に応じてその日に話し合う事もある。帰りの空き時間や朝のミーティングで児童の少しの変化や集団活動での様子を細かく確認し共有している。何かおこるとミーティングで確認している。ミーティングで周知されている。	パート職員や欠勤した職員にもミーティング内容を書面だけではなくその都度口頭で伝えていくようにする。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			支援終了後に正しく記録をつけている。ミーティング内容は必ず記録し児童の1日の流れや支援内容を分かりやすくまとめている。記録は毎日しっかりとり次の日の朝検証をして改善につなげている。その日のうちに日記を書いている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			半年に1回以上は行なっている。必要に応じてその前に行うこともある。半年ごとの面談があり課題解決のための原因追求と観察をする。モニタリングを行い課題解決のための原因追求と観察をする。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1		虐待防止、守秘義務等がガイドラインにしたがって支援を行なっている。公園が近隣にあり自然体験が身近にできる。	放課後児童クラブや地域の方との交流、ペアレントトレーニング等の活動が不足している為今後増やしていきたい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児童発達支援管理責任者が参画している。必ず児発管は出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			送迎時に伝言が保護者から連絡があり周知している。送迎時に伝言や保護者から連絡があり周知できている。保護者とメールで情報交換をして毎週時間割を送信してもらっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4	1	医ケアの児童受け入れた時は主治医と連絡を整えていきたい。医療的ケアの該当児童がいない。該当児童がいない。	該当児童がいない。
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		今後は情報共有していきたいと思う。引き継ぎ連絡で情報共有を行なっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	1	該当児童がいない。まだ卒業した児童がいないので今後そういった時は情報共有していきたい。	該当児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		モニタリング(担当者会議)の時に必要に応じて出席してもらっている。	障害者基幹相談支援センターの職員とは連携がとれている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	児童との交流はコロナの為出来ていない。今後は地域との交流を増やしていきたい。	児童館での障がいのない子どもとの交流の機会があったが、放課後児童クラブとの交流は今後検討していきたい。

保護者への説明責任等	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	今後は交流を深めていきたい。	協議会の参加はしていない。今後必要に応じて参加していく。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		何かあれば電話やメール直接訪問して情報交換や課題について話し合っている。ケア記録・LINE等で伝え合いを行なっている。活動日記で伝えあっている。		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1	必要に応じて行なっている。	プログラムとして今後積極的にとり入れていきたい。保護者に対し家庭での対応の仕方を個別に伝える形で支援はできている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に行なっている。契約の時に説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			面談時やその都度行なっている。相談を受けた時助言している。また必要に応じて担当者会議を開いてもらっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	3	コロナ禍の為にしていないが今後は開催していく予定。コロナのためおこなっていない。	保護者会は行なっていない。コロナの感染状況や保護者のニーズ、開催可能な日時等を検討し必要に応じて行いたい。バザーなどを開催して保護者同士の交流を支援していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情があった場合は職員間でミーティングをして対応策を決めて保護者に説明している。記録も残している。管理者、児発管に報告しその都度即時に対応できている。連携をとりその都度対応できている。	
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		公式LINEやお知らせなどで発信している。活動概要行事予定に関しては毎月おたよりとホームページでお知らせしている。毎月おたよりを発行。	会報は発行していないが毎月の活動予定表をお渡ししている。またその都度何かあれば保護者に一斉LINEを送り情報発信をしている。	
35	個人情報に十分注意しているか	5			鍵付きのロッカーに保管している。SNS等に掲載する時は遠くから写真を撮り顔を隠して載せている。個人情報は同意書をかかわしている。事務所の書庫で管理されている。		

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		児童は絵カードや写真を作っている。保護者には説明が難しい時短く説明している。LINE等で情報伝達を行なっている。	障がい特性に応じた配慮を今後も続けていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	2	今はコロナ禍の為出来ていないが、今後夏祭りや老人会等行い地域交流を計画していきたい。当てはまらない。	コロナ感染状況を考慮しながら今後はイベントを企画して地域住民との交流を図っていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	1	職員には周知しているが保護者にはしていないので今後周知したいと思う。マニュアルがあり情報共有している。	保護者にわかりやすく周知できる様に努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			定期的な避難訓練を行なっている。毎月1回火災・地震の避難訓練をしている。年1回消防派遣もしている。防災訓練は外部の職員を派遣している。月1で避難訓練を行なっている。月1で火災・地震・不審者のいずれかを1つ決め訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			研修やミーティングで周知している。虐待の研修をリモートで外部から受けている。研修を受けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			児童同士のトラブル、外に出て車に引かれそうになった時等一時的に身体を押さえる。手を繋ぐ等することがあると保護者に説明して同意書を書いてもらっている。契約時に説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			アレルギーのある児童は医師の指示書をコピーしてもらっている。また薬も同意を得て預かっている。保護者からの聞き取りのみ、おやつ・アレルギーの配慮は周知されている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ファイルで保管し共有できるようになっている。出来事報告書を作成して共有している。	